

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	建築学基礎演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	0048			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	特に教科書はなく、補助教材・適宜プリント等の資料を使用する。						
担当教員	小川 信之						
到達目標							
1 計画・設計分野の理解が深まる 2 構造分野の理解が深まる 3 環境分野の理解が深まる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1 計画・設計分野の理解が深まる	計画・設計分野の課題・演習等に対して8割以上正確に理解している。			計画・設計分野の課題・演習等に対して6割以上正確に理解している。		計画・設計分野の課題・演習等が理解できない。	
2 構造分野の理解が深まる	構造分野の課題・演習等 に対して8割以上正確に理解している。			構造分野の課題・演習等に対して6割以上正確に理解している。		構造分野の課題・演習等が理解できない。	
3 環境分野の理解が深まる	環境分野の課題・演習等に対して8割以上正確に理解している。			環境分野の課題・演習等に対して6割以上正確に理解している。		環境分野の課題・演習等が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築学に対する留学生の理解を深める効果をもつ。建築の3つの分野である、構造・環 境・計画(設計製図を含む)の授業内容に關 する補助教材を用意し、説明とその演習により学修の深度を深める。						
授業の進め方・方法	同級生と一緒に受講している講義と平行して、専門科目授業担当教員と連携してこの科目の講義/演習は進めていく。 (事前準備の学習) 日本語の読み書きを復習しておくこと。 英語導入計画: Technical terms						
注意点	担当教員の指示を受け、計画的に進めること。授業の内容を確実に身につけるために、予習・復習が必須である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業と学習の進め方の説明/応用物理 I に関する演習		授業と学習の進め方に関する理解を深める/応用物理 I に関する理解を深める		
		2週	インテリアデザイン論に関する演習		インテリアデザイン論に関する理解を深める		
		3週	建築設計製図Ⅰに関する演習		建築設計製図Ⅰに関する理解を深める		
		4週	環境工学基礎に関する演習		環境工学基礎に関する理解を深める		
		5週	建築計画Ⅰに関する演習		建築計画Ⅰに関する理解を深める		
		6週	インテリアデザイン論に関する演習		インテリアデザイン論に関する理解を深める		
		7週	建築計画Ⅰに関する演習		建築計画Ⅰに関する理解を深める		
		8週	環境工学基礎に関する演習		環境工学基礎に関する理解を深める		
	2ndQ	9週	構造力学Ⅰ・材料力学に関する演習		構造力学Ⅰ・材料力学に関する理解を深める		
		10週	構造力学Ⅰ・材料力学に関する演習		構造力学Ⅰ・材料力学に関する理解を深める		
		11週	デジタルデザインに関する演習		デジタルデザインに関する理解を深める		
		12週	情報処理に関する演習		情報処理に関する理解を深める		
		13週	デジタルデザインに関する演習		デジタルデザインに関する理解を深める		
		14週	情報処理に関する演習		情報処理に関する理解を深める		
		15週	総まとめに関する講義と成績評価方法の説明				
		16週					
後期	3rdQ	1週	インテリア設計Ⅰに関する演習		インテリア設計Ⅰに関する理解を深める		
		2週	デジタルデザインⅡに関する演習		デジタルデザインⅡに関する理解を深める		
		3週	応用物理Ⅰに関する演習		応用物理Ⅰに関する理解を深める		
		4週	構造力学Ⅰに関する演習		構造力学Ⅰに関する理解を深める		
		5週	建築設計製図Ⅰに関する演習		建築設計製図Ⅰに関する理解を深める		
		6週	木質構造に関する演習		木質構造に関する理解を深める		
		7週	建築計画Ⅰに関する演習		建築計画に関する理解を深める		
		8週	インテリア設計Ⅰに関する演習		インテリア設計Ⅰに関する理解を深める		
	4thQ	9週	デジタルデザインⅡに関する演習		デジタルデザインⅡに関する理解を深める		
		10週	応用物理Ⅰに関する演習		応用物理Ⅰに関する理解を深める		
		11週	構造力学Ⅰに関する演習		構造力学Ⅰに関する理解を深める		
		12週	建築設計製図Ⅰに関する演習		建築設計製図Ⅰに関する理解を深める		
		13週	木質構造に関する演習		木質構造に関する理解を深める		
		14週	建築計画Ⅰに関する演習		建築計画Ⅰに関する理解を深める		
		15週	総まとめに関する講義と成績評価方法の説明				

		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポートなど	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	50	0	50	
専門的能力	0	0	0	0	50	0	50	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	